



こんにちは。

日系社会青年海外協力隊としてドミニカ共和国で活動している丸山奈津子です。

ドミニカ共和国はカリブ海に浮かぶ島『エスピノーラ島』の東側3分の2を占めている国です。

私は首都の Santo Domingo に派遣されているのですが、今回はドミニカ共和国の音楽について紹介させていただきます。

メレンゲ、バチャータをご存知ですか？

これらは、ラテン音楽を代表する音楽ジャンルで、ドミニカ共和国が発祥の地となっているものです。

メレンゲは明るくリズムカルな音楽で、アコーディオンやギターなども入った楽曲が多いです。その起源には諸説ありますが、1700年代に当時の奴隷たちによって作られたものが始まりだったと考えられているそうです。

一方で、バチャータは男女の恋の駆け引きを表現したしっとりとした音楽です。こちらもまた奴隷たちによって作られた音楽で、仕事の終わった深夜に裏路地で歌い踊ったものが始まりだといわれています。優しく心地よいメロディの音楽です。



ドミニカ共和国は、常に音楽で溢れている国です。コルマド(日本でいうコンビニ)やバスの車内は、いつも大音量のドミニカ音楽が流れています。音楽がかかっていないときには、誰かしらが自分の携帯を大音量にして音楽を流してくれます。また、家族や友人の集まる場所では、音楽が流れるとみんなが踊り出します。子供からお年寄りまでみんな踊れるのです。



写真に写っているのは、先日訪れた田舎町で出会った6歳の女の子。こんなに小さくても、しっかりとメレンゲのステップが体に染み込んでいて、とっても上手に踊っていました。

「ここ(ドミニカ共和国)に生まれたから、血液の中に音楽が溶け込んでいるんだよ。だからみんな踊れるんだ」と笑いながら教えてくれるドミニカの人たち。いつもとても楽しそうです。

ラテンの陽気さを感じられるドミニカ音楽をぜひ聴いてみてください。